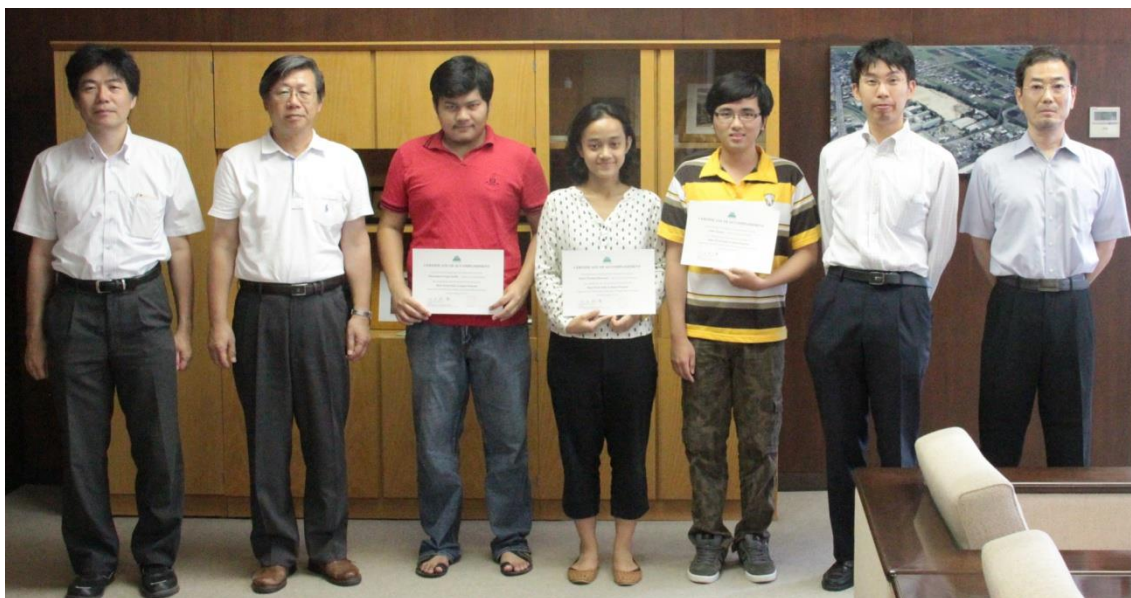


バンドン工科大学学生のインターンシップ修了式を挙

岐阜高専は、平成 23 年 11 月にインドネシアのバンドン工科大学(Institut Teknologi Bandung; ITB)と包括的な交流協定を結んで以来、ジョイントセミナー実施などの教員の学術交流に加えて学生の交換を推進しています。平成 27 年度も JASSO の支援を受けて、7 月 20 日～8 月 7 日までの約 3 週間、情報工学科の 3 人の学部生を岐阜高専電気情報工学科の研究室に配属し、教員の指導の下で研究室の学生と共同研究や共同調査を実施しました。また、インドネシア、バンドン工科大学、そこでの学生生活等の紹介を通じて岐阜高専学生との交流を深めたが、岐阜高専から ITB に派遣される 3 名の専攻科学生にとっても良い事前交流となりました。派遣されてくる ITB 学生の専門的能力、英語語学力は極めて高く、岐阜高専生が刺激を受けるのはむろんのこと、教員にとっても他国の代表的な大学生の能力を測る良い機会となっています。



バンドン工科大学学生のインターンシップ修了式。左から、岐阜高専・羽瀨国際交流室長、北田校長、ITB 情報工学科学生、電気情報工学科田島講師、安田教授。